



## 本県が目指す「SDGs未来都市」の姿

本県発展の原点である「水」に焦点をあて、  
2030年においても **美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県** を目指す

1 将来ビジョン

### 地域の特性

- ・立山連峰や美しい富山湾など、豊かで美しい自然環境
- ・「名水百選」、「とやまの名水」など全国に誇れる清らかな水環境
- ・日本海側の中心に位置、環日本海・アジア地域の拠点

### 2030年のあるべき姿

#### 環日本海地域をリードする「環境エネルギー先端県とやま」

- ①世界に誇れる雄大な「立山黒部」や「世界で最も美しい富山湾」など美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県
- ②「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」が確立した県

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット

- 【経済面】美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かした経済発展
- 【社会面】カーボンニュートラルの実現に向けた「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立
- 【環境面】地域固有の自然環境・水環境の保全

2

自治体SDGsに資する取組

### 自治体SDGsに資する取組

#### 【経済面】

- ①「立山黒部」の高付加価値化
- ②国際的ブランド「世界で最も美しい富山湾」の活用
- ③水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上
- ④カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの導入、新たなエネルギーの利用に向けた開発の促進

#### 【社会面】

- ⑤脱炭素社会・循環型社会づくりの推進
- ⑥「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立

#### 【環境面】

- ⑦立山黒部をはじめとする雄大で美しく豊かな自然環境の保全
- ⑧環日本海地域の環境保全への国際貢献
- ⑨清らかな水資源の保全と活用
- ⑩水と緑の森づくり

3

推進体制

### 各種計画への反映、行政体内部の執行体制

- 総合計画等においてSDGsの理念に沿った取組みを推進。各種計画の策定時及び改訂時にSDGsの理念を反映し、SDGsに関連する各種事業を展開。
- 県の各事業とSDGsの17のゴールとの関連付け、各種事業の推進に取り組む。

### ステークホルダーとの連携

- 経済界、有識者、NPO等が参画する富山県SDGs推進連絡協議会を開催し、県内のSDGsの推進に取り組む。
- 富山市、南砺市、氷見市、滑川市などSDGs未来都市をはじめ、県内市町村と一体となってSDGs推進に取り組む。

### 自律的好循環の形成

- 県内企業・団体等が自社の事業とSDGsの関連性を認識し、SDGsに関する取組みを宣言する、富山県SDGs宣言を実施。県内企業等の成長・発展戦略に繋げる。
- 民間企業との包括連携協定によるSDGs事業を実施。官民相互のノウハウ等を活かし、県民サービスの向上と地域活性化に努める。

## 富山県第3期SDGs未来都市計画の一部改定について

- ・「富山県総合計画-幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～を目指して」を令和7年12月に策定
- ・新たな総合計画策定に伴い、富山県第3期SDGs未来都市計画を一部改定(R8.4改定)

### 新たな総合計画



- 計画期間: 5年間(令和7年度～令和11年度)
- 政策の柱: **未来に向けた人づくり**と**新しい社会経済システムの構築**の2つを柱とし、12の政策分野で主要施策を展開

○SDGsの推進: 政策分野「6 人材活躍・共生」に記載

#### <SDGsの推進と担い手の育成>

SDGsの達成に向けて、経済・社会・環境をめぐる広範な課題解決に総合的に取り組むため、ステークホルダー(関係者)との連携を深めるとともに、将来の担い手である若者の理解醸成を図ります。

### 改定内容(抜粋)

#### 未来都市計画の推進体制に係る記載を一部修正

##### 【「富山県総合計画-幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～を目指して」】

本県では、富山県総合計画審議会からの答申を踏まえ、2029(令和11)年度を目標年次とする「富山県総合計画-幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～を目指して」を2025(令和7)年12月に策定し、主要施策に「SDGsの推進と担い手の育成」を盛り込み、SDGsの理念に沿った取組を推進している。

##### 【富山県総合計画「元気とやま創造計画ーとやま新時代へ 新たな挑戦ー」】

本県では、富山県総合計画審議会からの答申を踏まえ、2026(令和8)年度を目標年次とする総合計画「元気とやま創造計画ーとやま新時代へ 新たな挑戦ー」を2018(平成30)年3月に策定し、SDGsの理念にも沿った取組を推進している。



## SDGs連携促進事業について①

### 富山県SDGs宣言(R3～)

- 県内企業や団体等からSDGsに関する取組みを宣言いただき、「**富山県SDGs宣言**」を募集し、その取組みを県の**専用ウェブサイト**に掲載するなど「見える化」し、広く情報発信することで、本県のSDGsの取組みを推進
- 県内企業等の事業活動とSDGsの関連性を認識いただき、SDGs宣言の取組みを進めることにより、SDGsの推進と県内企業等の成長・発展戦略につなげる

#### <宣言のメリット>

- 自社のSDGsの取組みを県の専用HP等でPR
- 社会課題への対応による自社の取組みの深まり
- 県内の企業等におけるSDGsの取組みを知ることによる連携促進
- 企業イメージや企業価値の向上による、多様な人材の確保、新たな事業機会の創出等



富山県SDGs宣言  
TOYAMA SDGs PROJECT

#### ○応募状況

・**527団体**(R8.4.15公表) <参考> 前回協議会開催時:495団体(R7.4.15公表)

【業種別】…上位5業種抜粋

- ① 建設業 151社(26.2%) ② 製造業 134社(22.3%) ③ 卸売業・小売業 62社(10.6%)
- ④ サービス業(他に分類されないもの)56社(9%) ⑤ 金融業・保険業 27社(4.8%)

## SDGs宣言企業等の取組紹介

「富山県SDGs宣言」企業等の中から企業・団体間での連携した取組みや先進的な取組み、多角的な取組みを行っている企業・団体等の取組を専用ウェブサイトに掲載し紹介することで宣言企業の連携強化や取組の強化を図る

### ○実績(R4～R7)

・33団体(R8.4.15公表) R7は3団体の取組を紹介

- ・ 学生にとってはSDGsに対する理解を深めるとともに県内企業等のSDGsに関する取組みを知る機会となり、**将来の就職等のキャリア選択の際の基準の一つに**
- ・ 参加企業にとっては学生の考え方等を知るとともに、**学生に自社の取組みをPRする機会に**

## 新 大学生×SDGs宣言企業 座談会

- ・ SDGsの将来の担い手である大学生が富山県SDGs宣言を行う企業・団体等の取組みを通じ持続可能な経済・社会のあり方について学び・考える機会を創出するため、**富山県立大学と連携し大学生とSDGs宣言企業による座談会を開催**
- ・ 座談会の様子をまとめた記事を専用ウェブサイトに掲載するとともに、若年層をターゲットにSNS広告を活用し専用ウェブサイト(当該記事)への流入を増やすことで**「富山県SDGs宣言」や宣言企業等の認知度向上を図る**



# 令和7年度SDGs推進の主な取り組み

## カーボンニュートラルの推進

### ○県民向け普及啓発

脱炭素型ライフスタイル(太陽光発電の導入や住まいの省エネ化、EV等)について、商業施設やイベント等集客機会を捉えて、メリットや補助金等の情報を発信。

【令和7年度出展先】

- ・5/10@富山住宅公園  
太陽光システム相談会
- ・6/15@ファボーレ  
家電芸人省エネ家電トーク
- ・7/13@イオンモール高岡  
窓リフォーム体感イベント
- ・7/27@YKKAP30ビル  
窓から考えるエコハウスづくり
- ・7/27@KNBサマフェス  
EV補助金PRブース出展
- ・10月  
とやま環境フェア、  
市町村環境イベントへの出展



### ○GX(グリーン・トランスフォーメーション)の推進

県内企業でのGXの実現に向け、県が作成した「富山県版GX取組み手引書」を活用し、実務担当者及び経営者向けにセミナーを開催。



実務担当者向けセミナーの様子



富山県版GX取組み手引書

## とやまの清らかな水環境の保全活動の促進

### ○水循環に関する環境観察会の開催

本県の豊かで清らかな水環境に理解を深め、保全活動への参加を促すため、「とやま森・川・海の環境観察会」を開催

- ・実施時期: 令和7年7月～8月(5回開催)
- ・参加人数: 小学生とその保護者208名
- ・実施内容: 海や川での生き物調査、植林体験



海や川での生き物調査

### ○名水巡りツアーの開催

県内各地の名水に触れ合うことで、本県の恵まれた水環境の魅力を再発見し、また、水環境保全の重要性を理解してもらうため、令和7年9月に県内2か所で「名水巡りツアー」を開催(小学生とその保護者48名が参加)



岩瀬家の清水

### ○「地下水の守り人」技術講習会の開催

名水・湧水保全活動者、消雪設備管理者等を対象に、地下水保全意識の高揚を図るとともに、地下水保全活動を促進する技術講習会を開催(オンライン含む85名参加)



「地下水の守り人」技術講習会

# 令和7年度SDGs推進の主な取組み

## 環境教育の推進

### 〇とやま環境未来チャレンジ

地球温暖化対策・3Rの推進・食品ロスの削減などに取り組む小学生を対象とした環境教育「とやま環境チャレンジ10」を実施

#### 参加人数

令和7年度までの累計:65,066人

### 〇とやま環境フェア

デコ活を中心とした環境配慮について、ブースやステージイベントを通じて幅広く学ぶことができる「とやま環境フェア2025」を開催

#### 開催日時

令和7年10月11日(土)～令和7年10月12日(日)

#### 開催場所

メイン会場:高岡テクノドーム

サテライト会場:イオンモール高岡

#### 参加者数

約10,300人



とやま環境未来チャレンジ



体験型ブース

## 海岸漂着物対策推進事業

### 〇県内全域での漂着ごみ対策

#### 【みんなできれいにせんまいけ大作戦2025】

市町村等と連携して、県民総参加の清掃キャンペーンを展開

・実施時期:令和7年6月～10月 ・参加人数:3万4千人

#### 【とやま海ごみボランティア部】

県内の企業・団体等が参加する「とやま海ごみボランティア部」のメンバーによる清掃活動の促進

#### ・メンバー合同での清掃活動

令和7年10月26日(日)、岩瀬浜海水浴場 ※荒天のため中止

#### 【とやまの海ごみワークショップ】

海岸漂着物に関する問題を周知し、自分ごととして発信する方法を考えるワークショップを開催、内容をグラフィック・レコーディングで記録

・令和7年8月17日(日)、庄西コミュニティセンター(射水市)

参加人数:14名

・令和7年8月23日(土)、福光福祉会館(南砺市)

参加人数:13名

とやま環境フェアで、ブース出展及びワークショップ報告会や海洋ごみについて発信する「海洋ゴミ楽器集団『ゴミンゾク』」を招いたステージイベントを実施



ワークショップのグラフィック・レコーディング



ステージイベントの様子

## 令和7年度SDGs推進の主な取組み

### 「富山のさかな・水産加工品」ブランド化の推進

#### 〇とやまの食材プロモーション事業の実施

富山の食材の、生産者と実需者のバリューチェーンを構築するため、オンラインでのマッチングサイトの運営や、高級飲食店等のバイヤーを招へいたツアー、鮮度の高い「富山のさかな」等の輸送事業など、食材プロモーションを総合的に展開。

#### (1)「とやま食材マッチング」サイト

・登録者 バイヤー179人、生産者138人(R8.3月現在)

#### 【登録生産者向け】

定期的なバイヤーニーズのレポート配信(売り場動向など)

登録商品情報のブラッシュアップ指導の実施

#### 【登録実需者向け】

生産者の商品ストーリーを発信



#### (2)首都圏バイヤー県内産地ツアー

首都圏バイヤーを県内に招へいし、漁港や青果市場、生産現場など産地視察や、生産者との意見交換を実施。

・招請バイヤー:6社

・実施時期:令和7年10月

#### (3)「とやまの食」新幹線・航空機輸送事業助成金

・新幹線輸送:1箱あたり2,500円(上限250千円)

・航空機輸送:1キ<sub>ロ</sub>あたり 50円(上限250千円)

### エシカル消費の普及活動

#### 〇消費生活研究グループによるエシカル消費に関する研究等

県消費者協会が育成し、地域で活動する「消費生活研究グループ」がエシカル消費を調査研究し、消費者大会等で発表。



グループパネル展示

#### 〇アクティブラーニング型消費者教育推進事業

学校や地域において子どもたちがSDGsにおける環境問題について学び、消費生活等での課題を発見し、その課題の解決に取り組む消費者教育を実施。

〈実施団体〉

9校・団体(学校等:6校,消費生活研究グループ3団体)

〈実施内容〉

- ・環境や社会に配慮した避難所開設の検討
- ・児童による海岸漂流物を利用した巨大恐竜作り 等



児童による海岸漂流物を利用した恐竜作りの様子

# 令和7年度SDGs推進の主な取組み

## 食品ロス削減の取組み

### 〇フードドライブの定着・拡大

家庭から発生する手付かず食品の有効活用を促進するため、フードドライブの定着・拡大に向けた取組みを推進

<実施内容>

フードドライブ実施団体への支援  
資器材(のぼり旗、コンテナボックス等)の貸出し、  
食品提供側と受取側のマッチング支援、県HP  
でのPR



【スーパーでの常設の  
フードドライブ回収ボックス】

実施件数:115件(40団体により、14市町村で開催)※3月末時点

### 〇食ロスゼロアクション推進事業

家庭での食品ロス削減を推進するため、取組みの動画を活用した普及啓発を実施。

<実施内容>

子育て世帯、共働き世代、若者などライフスタイルに合わせた食品ロス削減の動画を制作し、SNS等でのデジタル広告により啓発・発信



動画再生回数:累計約8.6万回(R8.3月末現在)

### 〇フードバンク活動の促進等

県内のフードバンク活動の拡大・定着のため、普及啓発やマッチングの推進を実施

- ・賛同企業数:43社
  - ・受取団体数:22団体
  - ・食品提供事業者と受取側とのマッチング件数:54件
- ※令和8年3月31日時点

## 女性の活躍推進

### 〇「とやま女性活躍企業」認定制度

企業の成長とウェルビーイングの実現に向けて、女性が活躍する県内企業等を県が認定し、公表する新たな制度を創設。

中小企業等において女性が活躍しやすい職場づくりを後押しするとともに、「選ばれる企業」としてのブランド力向上と優秀な人材確保を支援。

【認定基準】

- ・女性の管理職比率
  - ▶産業ごとの全国平均値以上
- ・時間外労働等の時間数
  - ▶各月ごとに全て45時間未満
- ・女性活躍推進に向けた取組み
  - ▶具体的な取組みを1つ以上行っている等



【認定企業】

95社 (令和8年3月2日時点)



# 令和7年度SDGs推進の主な取組み

## パートナーシップ宣誓制度

### ○富山県パートナーシップ宣誓制度



すべての県民が個人として尊重され、多様性を認め合い、誰もが安心して心豊かに暮らせる人権尊重社会を目指すとともに、県民一人ひとりのウェルビーイングの向上に繋がる取組みとして、令和5年3月1日から開始。

#### 【パートナーシップ宣誓とは】

お互いをかけがえのないパートナーであることを約束する二人が、知事に対し、パートナーと共同して、パートナーシップにあることを宣誓するもの。県は、お二人の関係性を証明する「受領証」を交付。

#### 【宣誓をすることができる方】

お二人が以下の条件を満たす必要がある。

- (1)成年に達していること
- (2)いずれか一方が、県内に住所を有しているか又は県内への転入を予定していること
- (3)現に婚姻していないこと
- (4)現に宣誓をしようとする相手方以外の者とパートナーシップにないこと
- (5)宣誓に係るパートナーと直系血族若しくは三親等内の傍系血族又は直系姻族でないこと

#### 【宣誓件数】

93件(令和8年3月27日時点)

## SDGsの普及啓発

### ○セミナーの開催

令和7年度自治振興セミナー(富山県・(一財)地方自治研究機構 共催)においてSDGsに関するセミナーを開催

#### <日時>

令和7年7月11日(金)

#### <会場>

富山国際会議場

#### <参加者数>

約350名(会場:約200名、オンライン:約150名)

#### <実施内容>

- ①「ウェルビーイングについて(総論)」  
予防医学研究者、博士(医学) 石川 善樹 氏
- ②「AIと人間らしさの本質:人はAIと共進化する」  
(株)日立製作所フェロー、(株)ハピネスプラネット代表取締役CEO 矢野 和男 氏
- ③「行動の加速とビヨンドSDGs」  
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授 蟹江 憲史 氏



当日の様子

## 令和7年度SDGs推進に向けたその他の取組み

### 経済



#### ○カーボンニュートラル戦略推進事業

カーボンニュートラル戦略の目標達成に向けて、脱炭素型ライフスタイルの普及や小水力発電の導入に向けたマッチングを支援

#### ○ものづくり産業サーキュラーエコノミー推進事業

県内ものづくり産業におけるサーキュラーエコノミー（循環経済）推進に向けた普及啓発やクリエイティブ人材を活用した異業種連携の推進

#### ○再生可能エネルギー等導入促進事業

カーボンニュートラルを推進するため、県民や県内中小企業を対象に、太陽光発電設備など再エネ設備や省エネ設備の導入を支援

#### ○省エネ家電・機器買い換え促進による生活支援事業

省エネ性能の高い家電・機器の購入者に対し、品目に応じたポイントを交付し、買い換えを促進

#### ○EV導入促進事業

EV（電気自動車）の普及拡大に向けて、個人・事業者によるEV導入への支援と商業施設、集合住宅等での充電設備の導入を支援

#### ○富山型高性能住宅促進事業

住宅分野でのカーボンニュートラルの実現やウェルビーイングの向上に向け、ZHE水準を上回る富山型独自基準を満たす高性能住宅の工事費等に対する支援等

#### ○伏木富山港港湾脱炭素化推進

伏木富山港（新湊地区）国際物流ターミナルのLED化

## 令和7年度SDGs推進に向けたその他の取組み

### 社会



#### ○とやまの農林水産物輸出促進事業

とやま輸出ジャンプアップ計画に基づき、輸出に取り組む事業者への支援や海外プロモーション等を実施

#### ○とやまの農業者応援プロジェクト事業

農業の生産コストの現状を伝え、県産農産物を買って応援するイベント等の開催

#### ○食ロスゼロアクション推進事業

食品ロス削減を推進するため、食品ロス削減につながる取組みの動画を活用した普及啓発を実施

#### ○すぐ食べるなら！食ロスゼロキャンペーン事業

食品ロスを削減するため、県内の一部小売店でてまえどりや見切り品の積極的な購入による呼び掛けるキャンペーンを実施

#### ○とやま環境未来チャレンジ事業

地球温暖化対策・3Rの推進・食品ロスの削減などに取り組む小学生を対象とした環境教育「とやま環境チャレンジ10」を実施

#### ○災害廃棄物処理マニュアル等作成事業

市町村と民間事業者を対象に初動対応等のマニュアルを作成

#### ○プラスチック資源循環促進事業

廃プラスチックの循環利用を促進するため、プラスチック排出事業者と製造事業者等のマッチングや資源循環に向けた協働をモデル的に実施

#### ○県有施設のLED化と公用の電気自動車導入の促進

県有施設照明のLED化と公用車の電気自動車への更新を計画的に促進

## 令和7年度SDGs推進に向けたその他の取組み

### 社会



#### ○県営水力発電所リプレース事業

県内の3発電所（庄東第一、大長谷第二、仁歩）について固定価格買取制度を活用したリプレース（全面的更新）を実施

#### ○地熱バイナリー発電調査事業

魚津地域においてバイナリー方式による地熱発電の導入に向けた事業スキームの検討と事業採算性の評価を実施

#### ○難病相談・支援センター事業

富山県難病相談・支援センターにおいて、難病患者や家族の抱える不安や悩みを解消するため、相談体制を整備（R7実績：のべ778件）

#### ○ハートフルとやま工賃向上事業

障害者就労継続支援事業所における障害者の工賃の向上を図るため、共同受注窓口や農業連携コーディネーターの配置、事業所で制作した物品や委託可能な作業内容についての企業向けのPRや事業所向け研修等を実施

#### ○こどもの居場所づくり支援事業

不登校など様々な困難を抱えるこどもが、学校以外の居場所で安心して過ごせるよう、民間団体における「居場所の開設」や「特色ある取組み」を促進

## 令和7年度SDGs推進に向けたその他の取組み

### 環境



#### ○里山再生整備事業

県民協働による里山林整備の実施、地域住民の維持管理活動を支援

#### ○優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業

花粉発生源対策、主伐・再造林による森林循環の加速化を推進

#### ○ウッド・チェンジプロジェクト事業

県産材の利用を図るため、民間建築物での県産材の需要拡大などウッド・チェンジを推進

#### ○北東アジア地域環境保全活動促進事業

北東アジア地域の青少年を対象とした意見交換、自治体が連携したプロジェクトの検討

#### ○とやま海岸漂着ごみ・SDGs理解促進事業

海岸漂着物への理解を深め、対話を重ねながら解決策をともに考える、漂着ごみ・SDGsをテーマとしたワークショップを開催

#### ○ネイチャーポジティブ・環境保全活動機運醸成事業

環境イベントにおいて基調講演や展示の実施、環境資源の保全活動をPRする動画等を活用した広報

#### ○SDGsインクルーシブ教育システム推進事業

インクルーシブ教育推進員を配置し、インクルーシブ教育システムの理念の普及や推進員による学びの場の見直しに関する助言、好事例のPR

#### ○アクティブラーニング型消費者教育（SDGs）推進事業

若者を対象に、学校等でSDGsに関連したアクティブラーニング型の消費者教育を実施

## 令和8年度SDGs推進に向けた主な取組み

## 経済



- **カーボンニュートラル戦略推進事業 628万円**  
カーボンニュートラル戦略の目標達成に向けて、脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた県民向け周知啓発を実施
- **富山型GX推進事業 300万円**  
県内企業等のGXを実現するため、GX人材の育成に向けた研修会を開催
- **ものづくり産業サーキュラーエコノミー推進事業 1,600万円**  
県内ものづくり産業におけるサーキュラーエコノミー（循環経済）推進に向けた普及啓発やクリエイティブ人材を活用した異業種連携の推進
- **脱炭素化モデル中小企業育成事業 3,500万円**  
県内中小企業を対象に、再エネ・省エネ設備の導入に係る経費を支援
- **省エネ家電・機器買い換え促進による生活支援事業 7億円**  
省エネ性能の高い家電・機器及び太陽光発電設備の購入者に対し、品目に応じたポイントを交付し、買い換えを促進
- **富山型高性能住宅促進事業 4,100万円**  
住宅分野でのカーボンニュートラルの実現やウェルビーイングの向上に向け、ZHE水準を上回る富山型独自基準を満たす高性能住宅の工事費等に対する支援等
- **伏木富山港港湾脱炭素化推進**  
「伏木富山港港湾脱炭素化推進計画(R6策定)」の更新
- **水素モーダルコンビネーション輸送実証事業 2,200万円**  
伏木富山港を活用した、日本初となるコンテナによる水素のモーダルコンビネーションの輸送実証を実施
- **黒部宇奈月キャニオンルート始動事業 3,400万円**  
「黒部宇奈月キャニオンルート」一般開放・旅行商品化が開始できるよう準備を進めるとともに、全線開通後の新たな魅力創出を支援
- **人材マッチングプラットフォーム創設事業 1,350万円**  
エッセンスワーク分野をはじめとする人材不足への対応や継続雇用への新たな労働人口創出、多様な働き方の推進に繋げるため、スポットワークを切り口とした人材マッチングプラットフォームを創設

## 令和8年度SDGs推進に向けた主な取組み

### 社会



#### ○とやまの農林水産物輸出促進事業 5億6,910万円

とやま輸出ジャンプアップ計画に基づき、輸出に取り組む事業者への支援や海外プロモーション等を実施

#### ○とやまの消費者・農業者交流プロジェクト事業 230万円

農業の生産から販売にかかるコストの現状を伝え、県産農産物を買って応援するイベント等の開催

#### ○食ロスゼロアクション推進事業 200万円

食品ロス削減のを推進するため、食品ロス削減につながる取組みの動画を活用した普及啓発を実施

#### ○すぐ食べるなら！食ロスゼロキャンペーン事業 157万円

食品ロスを削減するため、県内の一部小売店でてまえどりや見切り品の積極的な購入による呼び掛けるキャンペーンを実施

#### ○とやま環境未来チャレンジ事業 350万円

地球温暖化対策・3 Rの推進・食品ロスの削減などに取り組む小学生を対象とした環境教育「とやま環境チャレンジ10」の実施

#### ○プラスチック資源循環促進事業 80万円

廃プラスチックの循環利用を促進するため、プラスチック排出事業者と製造事業者等のマッチングや資源循環に向けた協働をモデル的に実施

#### ○県有施設のLED化と公用の電気自動車導入の促進 8億1,700万円

県有施設照明のLED化と公用車の電気自動車への更新を計画的に促進

## 令和8年度SDGs推進に向けた主な取組み

### 社会



#### ○県営水力発電所リプレース事業 31億1,760万円

県内の発電所（大長谷第二、仁歩）について固定価格買取制度を活用したリプレース（全面的更新）を実施

#### ○バイナリー発電地熱井調査事業 2億4,200万円

魚津地域でのバイナリー方式による地熱発電の導入に向け、事業実施の可能性を調査

#### ○難病相談・支援センター事業 2,044万円

富山県難病相談・支援センターにおいて、難病患者や家族の抱える不安や悩みを解消するため、相談業務、講演会の開催、就労支援等を実施

#### ○障害児等療育支援事業 853万円

在宅障害児（者）の地域における生活を支援するため、療育相談やサービス提供に係る援助等を実施

#### ○ハートフルとやま工賃向上事業 998万円

障害者就労継続支援事業所における障害者の工賃の向上を図るため、共同受注窓口や農業連携コーディネーターの配置、事業所で制作した物品や委託可能な作業内容についての企業向けのPRや事業所向け研修等を実施

#### ○フリースクール等こどもの居場所づくり応援事業 420万円

「こどもの居場所づくり」を推進するため、不登校など様々な困難を抱えるこどもの学校以外の居場所を運営する民間団体の取組みを促進

#### ○SDGs連携促進事業 288万円

県内企業・団体等のSDGsの取組みや県、市町村、県内企業等の連携を促進するとともに、将来の担い手である学生等の理解醸成を図り、本県のSDGs達成に向けた取組みを推進する

## 令和8年度SDGs推進に向けた主な取組み

### 環境



○**里山再生整備事業 1億5,745万円**

県民協働による里山林整備の実施、地域住民の維持管理活動を支援

○**優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業 1億2,698万円**

花粉発生源対策、主伐・再造林による森林循環の加速化を推進

○**ウッドチェンジプロジェクト 300万円**

県産材の利用を図るため、民間建築物での県産材の需要拡大などウッド・チェンジを推進

○**北東アジア地域環境保全活動促進事業 51万円**

環境保全に関するプロジェクト（漂着物調査等）実施のための連絡調整等

○**アクティブラーニング型消費者教育（SDGs）推進事業 200万円**

若者を対象に、学校等でSDGsに関連したアクティブラーニング型の消費者教育を実施